

物質番号	物質名	CAS No.
14 参考資料	塩化アンチモン(三塩化アンチモン) (物質群「アンチモン及びその化合物」の個別物質の例)	10025-91-9

項目		データ等		
性状等	化学式	Cl ₃ Sb		
	分子量(式量)	228.11		
	常温での状態	刺激性の悪臭を持つ無色の固体		
	融点	73℃		
	沸点	223.5℃		
	水溶解度	1.19g/L(25℃)、推定値		
	その他	ベンゼン、アセトン等に可溶		
取扱状況	主な用途	顔料、触媒、試薬		
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
14 参考資料	三酸化ニアンチモン (物質群「アンチモン及びその化合物」の個別物質の例)	1309-64-4

項目		データ等		
性状等	化学式	Sb ₂ O ₃		
	分子量(式量)	291.52		
	常温での状態	白色粉末		
	融点	655℃		
	沸点	1425℃		
	水溶解度	微溶		
	その他	水には難溶、塩酸、カ性カリなどには溶解		
取扱状況	主な用途	各種樹脂、ビニル電線、帆布、繊維、塗料などの難燃助剤、他		
	製造・輸入量	1000～1万 t/年 (経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分5	飲み込むと有害のおそれ
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分3	水生生物に有害
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分3	長期的影響により水生生物に有害
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
14 参考資料	五酸化ニアンチモン (物質群「アンチモン及びその化合物」の個別物質の例)	1314-60-9

項目		データ等		
性状等	化学式	Sb ₂ O ₅		
	分子量(式量)	323.509		
	常温での状態	黄色固体		
	融点	380℃(分解)		
	沸点	-		
	水溶解度	微溶		
	その他	加温した塩酸や水酸化カリウムに可溶		
取扱状況	主な用途	各種樹脂・繊維の難燃剤、顔料、ガラス清澄剤、電子材料用原料		
	製造・輸入量	1000～1万 t/年 (経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
15	ニッケル及びその化合物	—

項目		データ等		
性状等	化学式			
	分子量(式量)			
	常温での状態			
	融点			
	沸点			
	水溶解度			
	その他			
取扱状況	主な用途			
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	-	-
		皮膚腐食性/刺激性	-	-
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	-	-
		生殖細胞変異原性	-	-
		発がん性	-	-
		生殖毒性	-	-
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	-	-
		水生環境有害性(慢性毒性)	-	-
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他			毒物及び劇物取締法(毒物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)	

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
15 参考資料	ニッケル(物質群「ニッケル及びその化合物」の個別物質の例)	7440-02-0

項目		データ等		
性状等	化学式	Ni		
	分子量(式量)	58.71		
	常温での状態	銀白色の固体		
	融点	1453℃		
	沸点	2732℃(計算値)		
	水溶解度	422g/L(25℃)、推定値		
	その他	不溶		
取扱状況	主な用途	特殊鋼・鋳鍛鋼品・合金ロール原料, メッキ		
	製造・輸入量	8 万 t/年 (化学商品(2007 年の生産量 30604t、輸入量 49816t))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分4	長期的影響により水生生物に有害のおそれ
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
15 参考資料	硫酸ニッケル(Ⅱ) (物質群「ニッケル及びその化合物」の個別物質の例)	7786-81-4

項目		データ等		
性状等	化学式	NiSO ₄ ·7H ₂ O		
	分子量(式量)	280.89		
	常温での状態	緑色の結晶または結晶性粉末		
	融点	840 °C		
	沸点	-		
	水溶解度	293g/L 水(0°C)		
	その他	水に溶けやすく、エチルアルコールには溶けない。		
取扱状況	主な用途	ニッケルメッキ、ニッケル触媒一般、媒染剤、亜鉛および真ちゅうの黒色着色剤、他		
	製造・輸入量	1万～10万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
	事例	例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
15 参考資料	塩化ニッケル(II) (物質群「ニッケル及びその化合物」の個別物質の例)	7718-54-9

項目		データ等		
性状等	化学式	NiCl ₂ ・6H ₂ O		
	分子量(式量)	225.62		
	常温での状態	緑色柱状晶、単斜晶		
	融点	-		
	沸点	973℃		
	水溶解度	642g/L 水(20℃)		
	その他	空气中で加熱すると酸化ニッケルとなる。		
取扱状況	主な用途	電気メッキ、試薬		
	製造・輸入量	1000～1万 t/年 (経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
16	ウラン及びその化合物	7440-61-1

項目		データ等		
性状等	化学式	U		
	分子量(式量)	238.029		
	常温での状態	白銀色の固体		
	融点	1132.8 ℃		
	沸点	4131℃		
	水溶解度	不溶		
	その他			
取扱状況	主な用途	核燃料、ウラニウム化合物		
	製造・輸入量			
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		生殖細胞変異原性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		発がん性	区分1	発がんのおそれ
		生殖毒性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		水生環境有害性(慢性毒性)	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
17	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	117-81-7

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₂₄ H ₃₈ O ₄		
	分子量(式量)	390.57		
	常温での状態	無色の粘調液体		
	融点	-55℃		
	沸点	384℃		
	水溶解度	0.27 mg/L(25℃)、実測値		
	その他	油に溶解する		
取扱状況	主な用途	塩化ビニル、ニトロセルロース、メタクリル酸、塩化ゴムに良好な相溶性がある。		
	製造・輸入量	10万～100万t/年(経産省調査(平成19年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		皮膚腐食性/刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分4	長期的影響により水生生物に有害のおそれ
選定条件の該当状況	法規制等	要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		要調査項目 水道水質基準(要検討項目)		

備考	
----	--

物質番号	物質名	CAS No.
18	フェニトロチオン(MEP)	122-14-5

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₉ H ₁₂ NO ₅ PS		
	分子量(式量)	277.24		
	常温での状態	茶色ないし黄色の液体		
	融点	3.4℃		
	沸点	164℃		
	水溶解度	38 mg/L(25℃)、実測値		
	その他	有機溶剤を含む製剤は引火性がある		
取扱状況	主な用途	農薬(殺虫剤)		
	製造・輸入量	1700t/年(化審法届出(平成20年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
19	イソプロチオラン	50512-35-1

項目		データ等		
性状等	化学式	$C_{12}H_{18}O_4S_2$		
	分子量(式量)	290.4		
	常温での状態	無色の結晶		
	融点	54℃		
	沸点	168℃		
	水溶解度	54 mg/L(25℃)、実測値		
	その他	アセトン等には溶解する		
取扱状況	主な用途	農薬(除草剤)		
	製造・輸入量	140t/年 (農薬推計値(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分4	飲み込むと有害
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分2	長期的影響により水生生物に毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		-		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
20	クロロタロニル(TPN)	1897-45-6

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₈ C ₁₄ N ₂		
	分子量(式量)	265.91		
	常温での状態	白色の粉末		
	融点	250℃		
	沸点	350℃		
	水溶解度	0.81 mg/L(25℃)、実測値		
	その他			
取扱状況	主な用途	農薬(殺菌剤)		
	製造・輸入量	100t/年 未満 (化審法届出(平成 20 年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		皮膚腐食性/刺激性	分類できない	十分な情報が得られず、分類ができなかった。
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い
		生殖毒性	区分2	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他			-	

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
21	プロピザミド	23950-58-5

項目		データ等			
性状等	化学式	C ₁₂ H ₁₁ C ₁₂ NO			
	分子量(式量)	256.13			
	常温での状態	白色結晶			
	融点	155℃			
	沸点	分解			
	水溶解度	15 mg/L(25℃)、実測値			
	その他				
取扱状況	主な用途	農薬(除草剤)			
	製造・輸入量	27t/年 (農薬推計値(平成 20 年度))			
	その他				
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		皮膚腐食性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。	
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分2	水生生物に毒性	
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分2	長期的影響により水生生物に毒性	
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)		
	事故の報告事例	例1			
		例2			
作業委員会における専門家の意見					
その他		-			

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------

物質番号	物質名	CAS No.
22	ジクロロボス(DDVP)	62-73-7

項目		データ等		
性状等	化学式	C ₄ H ₇ Cl ₂ O ₄ P		
	分子量(式量)	220.98		
	常温での状態	無色の結晶		
	融点	-60℃		
	沸点	234.1℃		
	水溶解度	8g/L(20℃)、実測値		
	その他	アルカリ性の水溶液で加水分解		
取扱状況	主な用途	農薬(殺虫剤)		
	製造・輸入量	210t/年(化審法届出(平成20年度))		
	その他			
有害性(GHS分類)	健康	急性毒性(経口)	区分3	飲み込むと有毒
		皮膚腐食性/刺激性	区分3	軽度の皮膚刺激
		眼に対する重篤な損傷性/刺激性	区分2	強い眼刺激
		生殖細胞変異原性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		発がん性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
		生殖毒性	区分外	十分な情報が得られたが、最も低い区分よりも有害性が低い。
	環境	水生環境有害性(急性毒性)	区分1	水生生物に非常に強い毒性
		水生環境有害性(慢性毒性)	区分1	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
選定条件の該当状況	法規制等		要監視項目 水道水質基準(水質管理目標設定項目)	
	事故の報告事例	例1		
		例2		
作業委員会における専門家の意見				
その他		毒物及び劇物取締法(劇物) GHS分類対象物質リスト(環境リスク「中」)		

備考	要監視項目に該当する農薬
----	--------------